

7月中旬の朝、学校に行く支度をしながら、カーテンをあけて

あおい

あーあ、また雨か・・・やだなあ。なんだかいろいろ思い出しちゃうな。

――鏡の前でまだグズグズしている――

(心の中) あ、藤井さんちの木。あんなに葉っぱがいっぱいになってる。「ランシンボク」っていうんだったな。

藤井さんは、聴覚障害者。3年前の豪雨の日、私は藤井さんや地域の人に人との連携やコミュニケーションの大切さを教えもらった。でも藤井さんはこわれた家を修理するのをやめて、駅前のマンションに引っ越した。そして今は、いろんなことをしている。

聴覚障害者の人たちのグループで活動しているし、小学校で手話を教えているし・・・すごいなー。でもなんで、あの木を植えていったのかなあ？

母

あおい、早くしなさいよー。お母さん、今日は早出だからもう先に行くよ。

あおい

えーっ 待って、待って、乗せてってよー。

――車のエンジン音、バタバタ走る音 ドアが閉まる――

――車の中で――

母

全く、どうしてあおいは、いつもギリギリになるのかな？

もう、いいじゃない。間に合うんだしさ。

そういうことじゃなくて、だいたいね・・・。

――さえぎるように――

あ、そうそう 夏休みにね、藤井さんたちと一緒にイベントするんだ。

杏子 えーっ、それ何ですか？

あおい この間、後援会で藤井さんが手話の話をしてくれましたよ。それで、そのあとで話をしたんだけど、災害のときにも使えるサインを作ったらどうかなっ？ってことになってね。手話よりもっと簡単で、誰でもわかるサイン。耳が聞こえなくても、おとなでも、子どもでも使えるサインを作ろうって。

ゆうな えーっ、めんどくさくないですか？

あおい すぐめんどくさいって言うけど、何かをはじめるとか何かを作るって、おもしろいよ。

みずき この間の手話の話、よかったじゃない。

ゆうな まあやってみてもいいけど。

みずき そうそう、やってみてもいいけど。

あおい で、文化祭の前、夏休みの間に藤井さんたちのグループと市民活動センターで。ちっちゃい子どもとお母さん、それから地域の大人の人も一緒に、防災教室を開こうってことになりました。

います。夏休みだから自由参加だけど、そこで、防災サインを発表してみたいと思います。

・ ・ ・ ひそひそ話す ・ ・ ・

ゆうな あおい先輩。今日はやけに張りきってるね。なんでかなあ。

杏子 うちの部活って、何でもやっついていいって、何もやらなくてもいい感じで、ユルイ感じだなーって思ってたんだけど。ちよっとめんどくさくなってきた。

みずき あおい先輩は、あの大雨の時、大変だったから、ついつい、力が入っちゃ

うというか、一生懸命になってるんだよ。

ゆうな・杏子 ふーん。そうなんだ。

あおい じゃ、どんな言葉を、サインにしたらいいかを考えて、その後、手話も参考にして、サインの形を決めたらいいかなと思います。

・・・それぞれに・・・

みんな うーん、どんな言葉がいいのかなあ。そうだなあ。むずかしいな。

みずき 思いついた。言葉をとりあえず、どんどんこの付箋に書いて貼り付けていこうよ。

ゆうな おつ、ナイス アイデアだね。

口々に3人が 「おながすいた」「おはよう」「ありがとう」「痛い」「大丈夫」「急いで」「がんばる」「こまっている」「ほしい」「ごめんなさい」

・・・しばらくして・・・

あおい この中から、本当に大変なときや、困ったときに、みんながわかりあえるために使える言葉を選ぼうよ。

みずき あいさつの言葉は。サインじゃなくても伝わると思うんだ。それより「痛い」とか「欲しい」「すぐに」「急いで」「逃げる」「大丈夫」「ダメ」みたいなのが、必要じゃないかな？でも「ありがとう」は、やっぱりいるかなあ。

杏子 「急いで」と「すぐに」は、いっしょじゃない？

ゆうな 「大丈夫」はOK(オッケー)とか ○(まる)「ダメです」はNO(ノー)とか×(バツ)のように簡単にした方がいいよ。

ゆうな それから、発表する時は、絵にかいてパネルを作ったり方がいいと思うんだ。わかりやすくしないと・・・。絵は、杏子がイラスト得意だからやりなよ。

みずき

賛成、なんかいい感じになってきたね。

ーそして 土曜日 市民活動センターの会議室えー

小林

手話サークル「サルビア」の代表の小林です。今日はお集まりいただきありがとうございます。今日の出席者は、聴覚障害者グループの原田さん・藤井さん・母子健康推進員の桑原さん、中学生の高橋さん、吉田さん、斉藤さん。それから社会福祉協議会の吉村さんです。今回の「防災教室」のすすめ方についてですが、はじめてのことなので、体験をしてみることを中心にします。まず、みなさんに、大雨を体験していただきます。ゲリラ豪雨と言われてもピンとこないので、雨の降り方を実際に体験します。カサ・カッパ・長靴・念のために着替えも準備して下さい。それから、簡単な雨量計作りのコーナー。ペットボトルで作ります。夏休みの自由研究にもいいかもしれませんね。お昼ごはんは、防災教室ということで、保存食を実際に食べてみましょう。そして、中学生のみなさんに考えてもらった、防災サインです。これは、パネルにして展示もします。実際に当日使ってみましょう。昼食の時、雨量計作りの時、降雨体験の時に、お互いに使ってみてください。中学生のみなさんは、先生役にもやってくださいね。この後は、各担当の人から説明してもらいますね。

ーそして夏休みに入ってー

ー防災教室が終わってー

あおい

なんか、よかったね。いろいろ失敗もあったけど・・・ひかる来てくれてありがとう。うれしかったよ。

ひかる

たまたま部活が休みだったからねー。おもしろかったし。へえーって思うこともいっぱいだった。雨もあの中で降るだけなら平気だけど、町全体があんまり雨だと逃げられるかなって、心配にもなったし、ちっちゃい子連れのお母さんや、耳のきこえない人はもっと大変だろうし。

それに、あおいがあの日のこと、忘れないで次につなげようって気持ち、あたしには、伝わったよ。きっと今日来た人たちにも届いたと思う。もうっとたくさんの人が防災サインを使ってくれたらいいよね。

ー三人が口々にー

ゆうな

あー いたいた。先輩、あたし、最初はめんどくさいと思ってたけど、今日は来てよかったです。

みずき

帰ったら家でも話してみる。

杏子

友だちにも言いたいね。

ゆうな

意外におもしろかったし、でもなおすところもいっぱいあるから、文化祭までガンバロー。

あおい

じゃ、部活で少しずつなおして、文化祭までに、防災サインをちゃんと仕上げよう。そして文化祭では、学校のみんなにいろんなことが伝わるように頑張ろうね。地域の人にも伝えたいなあ。

あおい

(心の中)

あの日から3年、今になってわかったことがたくさんあった。なんだか藤井さんが家のあった場所に木を植えていったことが、少しだけどわかった気がした。その木がランシンボク(楷の木)だということも。あの時、話してくれた、秋になるとすぐく紅葉がきれいだよって。学問の木って言われるんだけどね。自分からはじめる。できることから少しずつやる。大事だよって。あの頃はピンとこなかったけど、今は、少しずつわかってきた。私もできることをやってみよう。忘れないだけじゃなくて、知ってもらおうことからはじめよう。あたし達伝えていくんだ……

おわり